

令和5年度 新潟県看護協会重点目標・重点事業

重点目標：

- 1 地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携
- 2 地域の健康危機管理体制の構築
- 3 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
- 4 看護施策を推進するための持続可能な基盤強化

重点事業：

- 1-1) 新潟県訪問看護総合支援センター機能の充実強化
- 1-2) 看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成
- 1-3) 地域に必要な看護職確保を担うナースセンター機能強化
- 1-4) 支部活動の充実と看護職間の連携強化

- 2-1) 災害看護支援体制の充実強化
- 2-2) 新興感染症発生時の支援体制の構築
- 2-3) 支援体制等進捗状況の情報発信

- 3-1) 地域と連携した研修環境の充実
- 3-2) 看護職の労働環境改善に向けた支援の強化
- 3-3) 潜在看護職の多様なキャリア支援
- 3-4) 多様な働き方への対応

- 4-1) 会員（地域を含む）との情報共有及び看護施策の推進
- 4-2) 新潟県看護協会の組織強化
- 4-3) 協会活動の周知と会員満足度の向上
- 4-4) 看護の仕事の魅力発信

令和5年度重点目標・重点事業

1 地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携

1-1：新潟県訪問看護総合支援センター機能の充実強化

実 施 内 容

1. 訪問看護師の量と質の確保

- 1) 訪問看護事業所規模の拡大及び機能強化への支援の充実
- 2) 人材確保・定着への支援体制の強化
- 3) キャリアアップ・専門性の高い看護師の育成への支援
- 4) 訪問看護に関する課題の明確化及び施策化の推進
- 5) 看護小規模多機能型居宅介護事業所の課題の明確化とネットワークづくりの推進

2. 地域における訪問看護ステーション間の連携協働体制の構築

- 1) 新潟県訪問看護ステーション協議会支部活動への協力
- 2) 専門性の高い訪問看護師の活躍の推進
- 3) 健康危機管理事案発生時の連携体制の構築

1. 訪問看護師の量と質の確保

- 1) 運営アドバイザー事業や訪問看護相談事業により、ステーション経営安定化及び事業所機能や規模拡大への支援
- 2) 人材確保・定着への支援体制の強化
- ⑧ (1) 訪問看護師の育成体制整備支援事業を実施し、各事業所内において指導担当者の明確化を図り人材育成を支援するとともに、新潟版新任訪問看護師教育ツールを作成し活用を周知
- (2) 新任訪問看護師育成サポート事業、訪問看護就業支援プログラム（インターンシップ）事業、教育プログラム体験研修の継続実施
- (3) 訪問看護ステーション管理者の人材育成等支援体制の充実にに向けた検討に着手
- (4) ナースセンター、教育機関との連携による新任看護師採用促進への取り組み
- 3) 訪問看護従事者研修及び在宅看護（入退院支援）研修を実施しキャリアアップを支援するとともに、専門性の高い看護師の育成について国の政策動向、先行事例等を情報提供
- 4) 訪問看護実態調査を実施し課題について県内訪問看護ステーションや関係機関への周知を図るとともに、訪問看護推進協議会においてその解決に向けた方策を協議
- ⑧ 5) 看護小規模多機能型居宅介護事業所の課題の明確化を図り、解決に向けた事業企画及びネットワークづくりに着手

2. 地域における訪問看護ステーション間の連携協働体制の構築

- 1) 新潟県訪問看護ステーション協議会との情報交換・共有の実施
- 2) 地域における専門性の高い訪問看護師の活躍の場を拡げ、研修交流、情報交換の体制を整備
- 3) 健康危機管理事案発生時の新潟県訪問看護ステーション協議会各支部における連携体制への協力

令和5年度重点目標・重点事業

1 地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携

1-2：看護職の役割の推進と質の高い看護人材の育成

実施内容

1. 地域包括ケアシステムを支える看護職員の育成に向けた看護職の管理者（看護管理者）の連携

- 1) 看護管理者を対象とした研修の実施
- 2) 次世代の看護管理者のための研修の実施

2. 認定看護管理者育成のための研修の実施

- 1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル開講
- 2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講

3. 継続教育の充実（継続的な学習への支援）

- 1) クリニカルラダーと連動した継続教育の実施
- 2) 日本看護協会と連携した研修の実施
- 3) 行政と連携した研修の実施

4. 専門性の高い看護職員育成事業の継続

5. 有資格者（専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者）の活動支援

- 1) 有資格者のネットワークの推進
- 2) 有資格者の活動の可視化と周知
- 3) 認定看護管理者との連携強化

1. 地域包括ケアシステムを支える看護職員の育成に向けた看護職の管理者（看護管理者）の連携強化

- 1) 看護管理者を対象とした研修の実施
 - (1) 看護管理者研修会（医療機関対象）
 - (2) 教育研修計画（看護管理者を対象とした研修）のとおり
（看護の将来ビジョンと医療政策・地域包括ケアシステム関連研修等）
- 2) 次世代の看護管理者のための研修の実施
 - (1) 教育研修計画（これから管理を担う人々を対象とした研修）のとおり
（看護マネジメント・看護リフレクション・SWOTで現状分析等）

2. 認定看護管理者育成のための研修の実施

- 1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル開講
- 2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル開講

3. 継続教育の充実（継続的な学習への支援）

1) クリニカルラダーと連動した継続教育の実施

- (1) 教育研修計画（政策提言に向けた研修・診療報酬に関連した研修・看護クリニカルラダー（JNA）研修・資格認定教育）のとおり
（フィジカルアセスメント・看取り・コミュニケーション・看護倫理等）

2) 日本看護協会と連携した研修の実施

- (1) 医療安全管理者養成研修
- (2) 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

3) 行政と連携した研修の実施

- (1) 認知症対応力向上研修
- (2) 自殺予防と対策
- (3) 新人看護職員研修における教育担当者研修
- (4) 臨地実習指導者養成講習会

4. 専門性の高い看護職員育成事業の継続

- (1) 専門性の高い看護職員育成・活動促進に係る魚沼圏域の活動支援の継続
- (2) 専門性の高い看護職員育成事業による圏域拡大及び活動支援

5. 有資格者（専門看護師・認定看護師・特定行為研修修了者）の活動支援

1) 有資格者のネットワークの推進

- (1) 有資格者対象の研修の企画・運営

2) 有資格者の活動の可視化と周知

- (1) 広報誌やホームページを活用した広報活動
- (2) 出前研修の講師派遣の継続

3) 認定看護管理者との連携強化

- (1) 認定看護管理者の活動促進に向けた体制整備

令和5年度重点目標・重点事業

- 1 地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携
- 1-3：地域に必要な看護職確保を担うナースセンター機能強化

実施内容

1. 地域に必要な看護職確保の推進

- 1) 地域に必要な看護職確保に向けて、現状の把握と管理者への周知の強化
- 2) ナースセンター活用促進に向けた運営体制の強化
- 3) ナースセンターの理解の促進と利用の推進

1. 地域に必要な看護職確保の推進

- 1) 地域に必要な看護職確保に向けて、現状の把握と管理者への周知の強化
 - (1) 看護職者の入職・退職者数、地区別の求人者の把握
 - (2) 看護管理者への情報提供と意見交換
- 2) ナースセンター活用促進に向けた運営体制の強化
 - (1) ナースセンターと他機関とのネットワークの拡大
 - (2) 行政とのデータに関する情報共有の充実
- 3) ナースセンターの理解の促進と利用の推進
 - (1) 広報活動の促進
 - (2) 退職前の段階からナースセンター・届出制度・再就職支援の周知活動

- 1 地域の人々の健康と療養を支える看護の機能強化と連携
- 1-4：支部活動の充実と看護職間の連携強化

実施内容

1. つなぐ連携から切らずに継続できる看護の提供体制の実現

- 1) 在宅支援にかかわる看護職の増加と専門機能の充実強化
- 2) 多様な領域で働く看護職の意思決定支援の理解や技術の向上
- 3) 多職種連携人材育成研修への貢献

1. つなぐ連携から切らずに継続できる看護の提供体制の実現

- 1) 在宅支援にかかわる看護職の増加と専門機能の充実強化
 - (1) 異なる分野・領域の看護職の役割理解を促進するため研修会や情報交換会の開催
 - (2) 地域における看護職間の研修交流、タイムリーな情報共有・情報交換の体制整備
- 2) 多様な領域で働く看護職の意思決定支援の理解や技術の向上
 - (1) 意思決定支援に関する研修会の周知により参加促進を図る
- 3) 多職種連携人材育成研修への貢献
 - (1) 多職種連携による地域包括ケアに関する研修会・イベントへの参加協力

令和5年度重点目標・重点事業

- 2 地域の健康危機管理体制の構築
2-1：災害看護支援体制の充実強化

実施内容

1. 災害看護に貢献できる人材の育成
2. 看護職能組織としての役割・機能を発揮できる体制整備

1. 災害看護に貢献できる人材の育成
 - (1) 新潟県との連携により、災害支援ナース（災害・新興感染症対応）養成研修体制を整備
2. 看護職能組織としての役割・機能を発揮できる体制整備
 - (1) 新潟県との連携により、災害支援ナース（災害・新興感染症対応）養成研修修了者のリスト管理体制を構築し、応援派遣体制の整備に着手

- 2 地域の健康危機管理体制の構築
2-2：新興感染症発生時の支援体制の構築

実施内容

1. 潜在看護職の人材調整
2. 新興感染症発生対応に貢献できる人材の育成
3. 看護組織機能としての役割・機能を発揮できる体制整備

1. 潜在看護職の人材調整
2. 新興感染症発生対応に貢献できる人材の育成
3. 看護組織機能としての役割・機能を発揮できる体制整備

令和5年度重点目標・重点事業

- 2 地域の健康危機管理体制の構築
- 2-3：支援体制等進捗状況の情報発信

実施内容

- 1. ホームページを活用した情報提供

- 1. ホームページを活用した情報提供
 - (1) 日本看護協会との連携に関する情報提供をする
 - (2) 行政との連携に関する情報提供をする
 - (3) 検討内容等進捗に関する情報提供をする
 - (4) 協会イベントや活動内容、お知らせについてタイムリーに適宜更新する

- 3 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
- 3-1：地域と連携した研修環境の充実

実施内容

- 1. 生活圏内で学び続けられる環境づくり
 - 1) 「新潟モデル」に基づいた圏域内支援体制構築と継続

- 1. 生活圏内で学び続けられる環境づくり
 - 1) 「新潟モデル」に基づいた圏域内支援体制構築と継続
 - (1) 専門性の高い看護職員の育成・活動促進に係る魚沼圏域での実践支援

令和5年度重点目標・重点事業

- 3 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
3-2：看護職の労働環境改善に向けた支援の強化

実施内容

1. 看護職の労働環境改善における課題の明確化
2. 職場環境の問題を明確化するための支援
3. 日本看護協会と連動した処遇改善に向けた取組
4. 看護職の労働環境相談の充実と強化
5. 看護業務の効率化・生産性向上のための支援

1. 看護職の労働環境改善における課題の明確化
 - (1) 看護職の労働環境実態調査の実施
 - (2) 課題の整理と周知活動
 - (3) 魅力ある職場づくりに向けて、主体的な施設内での改善活動の推進
2. 職場環境の問題を明確化するための支援
 - (1) 管理者及びこれから管理者を目指す方への研修の実施
3. 日本看護協会と連動した処遇改善に向けた取組
 - (1) 看護管理者研修
4. 看護職の労働環境相談の充実と強化
5. 看護業務の効率化・生産性向上のための支援
 - (1) 看護業務の効率化先進事例アワードの周知及び参加推進
 - (2) 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアを推進していくための支援

- 3 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
3-3：潜在看護職の多様なキャリア支援

実施内容

1. 復職支援強化
2. 実態調査の実施、結果分析、課題解決に向けての検討
 - 1) 看護職員需要施設と未就業看護職員に対する実態調査を年度交互に実施

1. 復職支援強化
 - (1) 求職者のニーズに応じた研修・交流会の開催
2. 実態調査の実施、結果分析、課題解決に向けての検討
 - 1) 看護職員需要施設と未就業看護職員に対する実態調査を年度交互に実施
 - (1) 未就業看護職員の実態調査
 - (2) 地域の看護管理者に向けた実態調査の結果報告

3 看護職が働き続けられる勤務環境づくりの推進
3-4 : 多様な働き方への対応

実施内容

1. プラチナナースの活躍の場を広げる

2. 多様な働き方の研修開催

1. プラチナナースの活躍の場を広げる
 - (1) 再就職支援セミナー研修の継続と内容の充実
 - (2) 実際に働いているプラチナナースによる体験談の周知
2. 多様な働き方の研修開催
 - (1) 医療勤務環境支援センターとの連携による研修開催

令和5年度重点目標・重点事業

- 4 看護施策を推進するための持続可能な基盤強化
4-1：会員(地域を含む)との情報共有及び看護施策の推進

実施内容

1. 支部活動の充実及び連携強化
- 1) 支部活動の支援
2. 小規模施設、クリニック看護職への研修受講促進

1. 支部活動の充実及び連携強化
- 1) 支部活動の支援
- (1) 協会内の支部支援体制の整備
- (2) 支部との情報共有の促進
- (3) 支部と連携した事業の企画検討
- (4) 医療圏域ごとの看護管理者との連携強化
2. 小規模施設、クリニック看護職への研修受講促進
- (1) 広報誌やホームページを活用した出前研修の周知及び自施設での研修開催を促進

- 4 看護施策を推進するための持続可能な基盤強化
4-2：看護協会の組織強化

実施内容

1. 協会内組織体制の見直しと充実強化
2. 県看護協会ロゴマーク作成
3. 会員増に向けた検討

1. 協会内組織体制の見直しと充実強化
- (1) 協会内の環境整備を行う
- (2) 常任委員会の規約の見直しと明文化を行う
- (3) 運営組織図の改訂を行い支部への支援強化をする
2. 県看護協会ロゴマーク作成
- (1) 会員により身近な存在としての協会となれるように会員よりロゴマークを公募する
3. 会員増に向けた検討
- (1) 協会の安定的で持続可能な運営をするため、会員増に向けた課題の整理と検討をする

令和5年度重点目標・重点事業

4 看護施策を推進するための持続可能な基盤強化

4-3：協会活動の周知と会員満足度の向上

実施内容

1. ホームページの内容の充実

2. 研修設備の充実

3. キャリナース登録者数の増加

4. 協会情報の発信方法の検討

1. ホームページの内容の充実

(1) ホームページ内容の検討と刷新を行う

2. 研修設備の充実

(1) 協会施設内の Web 環境の整備（安定的にオンライン研修・会議ができるようにする）

3. キャリナース登録者数の増加

(1) キャリナースへの登録推進の検討を行う

4. 協会情報の発信方法の検討

(1) ホームページ以外に、お知らせや研修申し込みなど会員への情報発信、共有がタイムリーにできる方法の検討を行う

4 看護施策を推進するための持続可能な基盤強化

4-4：看護の仕事の魅力発信

実施内容

1. 県民の健康及び福祉増進のために、「看護の心・ケアの心・助け合いの心」を全世代の人と分かち合う

1) 看護の日事業の普及活動の継続と充実を図る

2) 幅広い年代に向けた普及活動

3) 県全体に広げる普及活動

2. 新型コロナ感染症対応関連寄稿文集作成

1. 県民の健康及び福祉増進のために、「看護の心・ケアの心・助け合いの心」を全世代の人と分かち合う

1) 看護の日事業の普及活動の継続と充実を図る

(1) 看護功労者の表彰式、健康相談、高校生一日体験発表会、市民公開フォーラム、看護協会支部活動報告、看護協会活動報告（訪問看護、ナースセンターを知ってもらう企画）

2) 幅広い年代に向けた普及活動

- (1) 若年層（中学生）と中年層（保護者）を対象に、看護の出前授業を実施
- (2) 年度ごとに、県内の二次医療圏の地域を順番に実施

3) 県全体に広げる普及活動

- (1) 看護の日事業を、協会支部及びナースセンター本所・支所（窓口）と協力して行う
- (2) 対象中学校の地元にある病院等の看護職に講師を依頼する

2. 新型コロナウイルス感染症対応関連寄稿文集作成

- (1) コロナ禍における県内の看護職の取組を共有し、歴史財産として後世に残すために「コロナ禍でケアを支え続けた看護職(仮)」を発行する